

【第30回】e-株主リサーチ 個人投資家モニターアンケート

**お勧めの株主優待トップは2009年に続き2年連続でマクドナルドの食事券
個人投資家は保有株式数や保有年数に応じた株主優待の充実を高評価**

IRコミュニケーション支援の株式会社エーツメディア (<http://www.a2media.co.jp>) は、個人投資家と上場企業を繋ぐコミュニケーションツールであるe-株主リサーチを使った個人投資家モニターアンケートを毎月実施しています。アンケートの結果ダイジェストは以下の通りです。

■ 個人投資家はとにかく株主優待が好き

株主優待目当てで購入した銘柄があるかたずねたところ、「ある」が70%と半数以上の個人投資家が株主優待目当てでの購入経験があることがわかった（「ない」30%）。また、物品型・金券型のどちらを支持するかたずねたところ、「物品型」56%、「金券型」44%という結果となった。2009年4月の調査では「物品型」53%、「金券型」47%と今回と大差なく、個人投資家は、どちらかというところ「物品型」がお好みなのだろうか。しかしながら、貰えとうれい株主優待をたずねた設問では、（複数回答可）、「金券・買い物券」70%、「飲食料品」55%、「食事券（割引券）」47%、「自社製品・企業オリジナル」25%の順であり金券型が圧倒的な票を集めた。結論としてはとにかく株主優待が好きといったところであろうか。

■ お勧め株主優待トップは2009年に続き2年連続で「マクドナルドの食事券」

お勧めする株主優待を自由記述でたずねたところ、日本マクドナルドホールディングス株式会社の食事券（21名）が最も多く挙げられた。続いて、株式会社ゼンショー（すき家、なか卯、coco'sなど）の食事券（15名）、株式会社ビックカメラの買い物優待券（11名）の順となった。得票数上位10社のうち9社が自社業務に関わる株主優待を採用している企業であった。自社業務に関わらない優待を採用している企業はヒューリック株式会社でカタログギフトを優待として採用していた。トップ2は2009年4月の調査と同様の2社であった。

■ 保有株式数や保有年数に応じた株主優待の充実を高評価

保有年数に応じた株主優待の充実が長期保有の動機となるかたずねたところ、「なる」との回答が47%と半数近くであった。「どちらかといえばなる」41%と合わせると、約9割が長期保有をする動機になると回答した。（「ならない」6%、「どちらかといえばならない」6%）。前回調査時も同程度の結果であったことから、保有年数に応じた優待の充実が個人投資家に対しては有効といえそうである。また、保有株式数に応じた株主優待の充実が買い増しの動機となるかたずねたところ、「なる」26%、「どちらかといえばなる」45%となり、約7割が長期保有の動機になると回答した（「ならない」7%、「どちらかといえばならない」23%）。こちらも前回と同様の結果であった。保有株式数や保有年数に応じた株主優待の充実が個人投資家の意向にマッチした施策といえそうである。

■ 企業価値判断の指標は「株主優待」、財務指標は「配当利回り」

毎月実施している企業価値を判断する際の指標では（複数回答可）、「株主優待」65%、「財務内容・業績」62%、「実績」51%の順であった。財務指標では、「配当利回り」65%がトップ、続いて「配当性向」37%、「株価収益率（PER）」34%の順となった。

■ 個人投資家が予想する来月の日経平均・円ドルレートは株高・円安

毎月実施している1ヵ月後（11月17日）の日経平均株価予想は「9,500～10,000円未満」（41%）が最も多い。アンケート開始時の終値（9,498円）を軸に見ると、上昇57%、下落43%であった。円ドルレート予想では、「80～82円」（26%）が最も多く選ばれた。アンケート開始時の円ドルレート（81.23円）を軸に見ると、円安49%、横ばい26%、円高25%となった。前回予想の結果：日経平均は10月半ばに9,400円台と、前回調査時（9,600円台）から約200円下落となった。個人投資家予想では、「9,500～10,000円」41%が最も多く選ばれており予想は外れとなった。円ドルレートは、10月半ばに81円台となり、前回調査時（85円台）から4円円高に。個人投資家予想は、「84～86円」28%であり、予想は外れとなった。

以上

詳細結果やグラフは下記弊社ホームページに掲載しております。

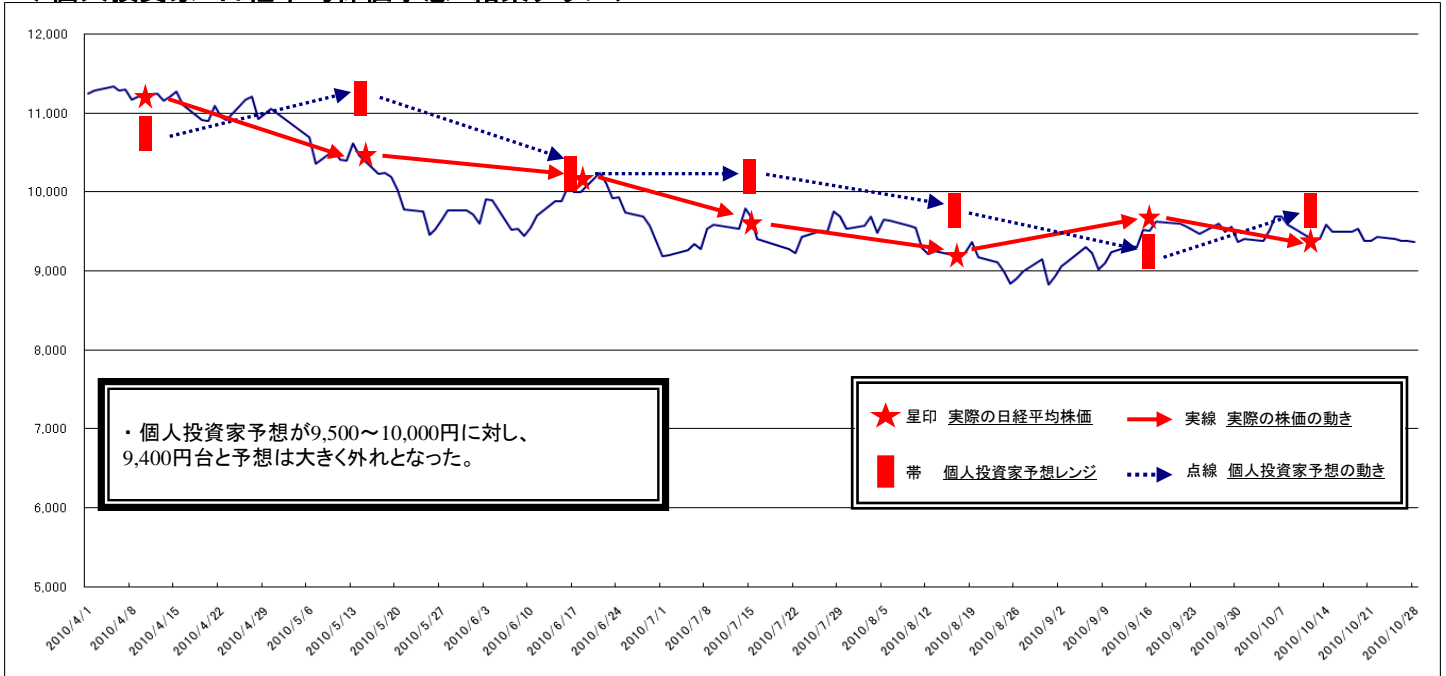
ホームページはこちら⇒ http://www.a2media.co.jp/e_kabunushi/monitor/

<調査概要>

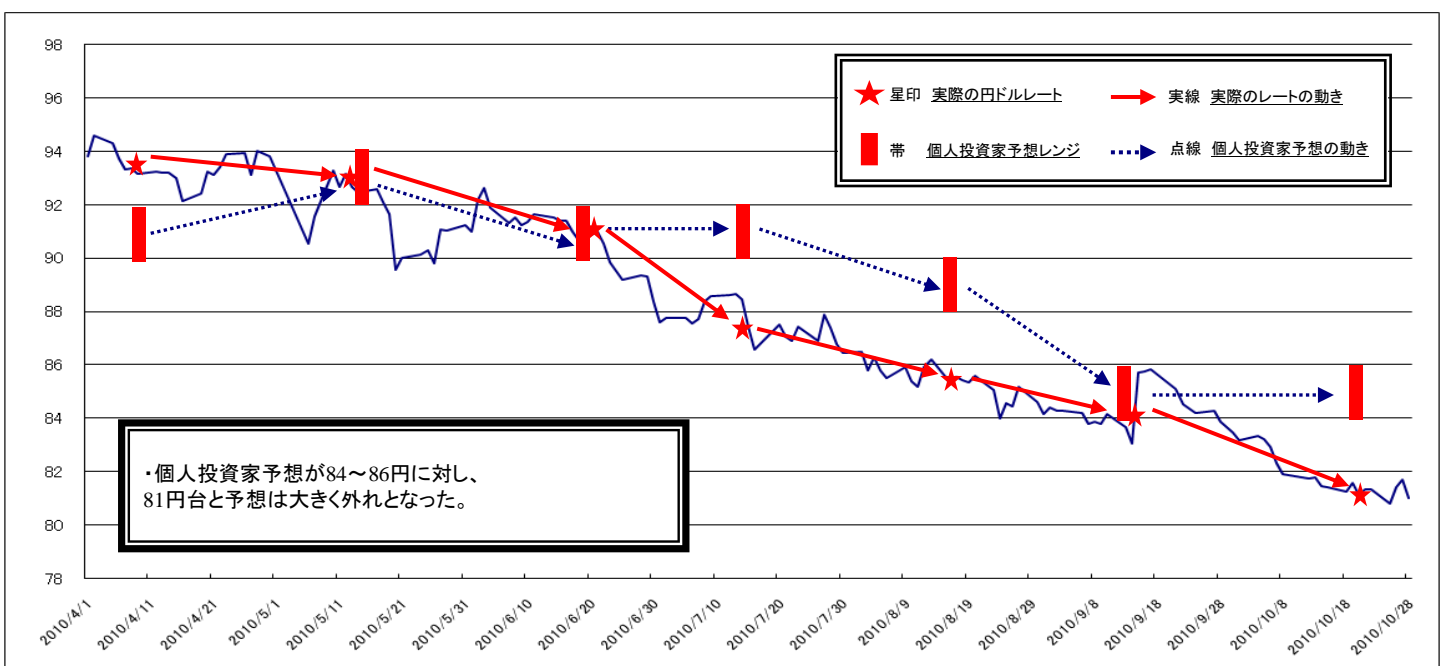
調査方法：インターネットを利用したアンケートリサーチ
 調査対象者：(株) エーツメディアのe-株主リサーチモニター会員
 調査期間：2010年10月18日～2010年10月24日
 集計回答人数：435人
 調査項目：

- 1.性別 2.年齢 3.職業 4.個人年収 5.株式投資歴 6.投資資金 7.投資スタイル 8.企業価値を見る上で重視する指標 9.企業価値を見る上で重視する財務指標 10.株主優待目当てでの購入有無 11.オリジナル型or汎用型どちらを支持するか 12.貰えるとうれしい株主優待 13.保有年数に応じた株主優待充実は長期保有の動機になるか 14.保有株式数に応じた株主優待の充実は買い増しの動機になるか 15.お勧めの株主優待 16.1ヵ月後(11月15日)の日経平均予想 17.1ヵ月後(11月15日)の円ドルレート予想 18.アンケートで聞いて欲しい設問 19.今回のアンケート設問への興味

<個人投資家 日経平均株価予想 結果グラフ>



<個人投資家 円ドルレート予想 結果グラフ>



<第29回目アンケート回答者属性>

- 性別/男性85%、女性15%
- 年代/29歳以下6%、30代26%、40代33%、50代16%、60代14%、70歳以上6%
- 職業/会社員55%、会社役員3%、公務員・非営利団体職員10%、自営業6%、パート・アルバイト・フリーター4%、専業主婦6%、学生0%、無職・定年退職14%、その他2%
- 個人年収/100万円以下11%、100～300万円未満13%、300～500万円未満26%、500～700万円未満24%、700～1,000万円未満17%、1,000～2,000万円未満7%、2,000万円以上2%
- 投資歴/1年未満0%、1～2年未満4%、2～5年未満17%、5～10年未満31%、10～20年未満24%、20年以上25%
- 投資資金/50万円以下3%、50～100万円以下7%、100～300万円未満18%、300～500万円未満17%、500～700万円未満10%、700～1,000万円未満12%、1,000～2,000万円未満14%、2,000万円以上17%
- 投資目的/インカムゲイン29%、キャピタルゲイン39%、株主優待30%、その他1%

<e-株主リサーチモニター属性>

母集団属性（2010年8月31日現在）

- 性別/男性76%、女性 24%
- 年代/29歳以下3%、30代22%、40代28%、50代21%、60代18%、70歳以上8%
- 職業/会社員45%、会社役員4%、公務員・非営利団体職員10%、自営業8%、パート・アルバイト・フリーター4%、専業主婦10%、学生1%、無職・定年退職14%、その他3%

< e-株主リサーチについて >

(株)エーツメディアが実施する個人株主を対象としたインターネット調査。3つのサービスを提供しています。

1. e-株主リサーチ

上場会社が主に本決算・第2四半期（中間）決算期に個人株主向けに配布する年次報告書内にてアンケート告知を行い、インターネットサイトに誘導し回答するシステム（携帯電話でも回答可能）です。IR担当者はリアルタイムで回答状況を把握できるだけでなく、同時期に実施している他社の結果と比較しながら自社結果を閲覧することができます。従来までのはがきを利用した株主向けのアンケートに比べ、劇的なスピードアップとコストダウンを実現。上場企業約433社の採用実績あり（2010年8月31日現在）。

2. e-株主リサーチモニターアンケート

e-株主リサーチ回答者に対してモニター会員の登録案内を行い、現在約17,000名（2010年8月31日現在）が登録しております。時事問題やトレンドをテーマに、個人投資家モニターの考え方や意見について定期的に調査を実施中。

個人株主の実態や企業のIR活動への要望などを分析し、個人株主と上場企業のコミュニケーションの円滑化図っていきます。

3. e-株主フェア

オンラインで実施する個人投資家向け会社説明会です。e-株主リサーチモニターを中心に来場案内を行いますので、投資経験豊富な個人投資家にアピールすることが可能です。また、会社説明閲覧後にはアンケートを実施しており、個人投資家のホットな声を直接聞くことができます。個人投資家コミュニケーションの場としてご活用いただけるサービスです。

< 株式会社エーツメディアについて >

会社概要

会社名：株式会社エーツメディア

URL：<http://www.a2media.co.jp>

所在地：東京都港区西新橋3-3-1 西新橋TSビル7F

設立日：2002年8月8日

資本金：6,230万円

代表者：代表取締役社長 永山 均

事業内容：IR企画・制作、年次報告書・アニュアルレポート・会社案内作成、IRサイト・コーポレートサイト構築、映像メディア作成、事業会社向けインターネットマーケティング、コンサルティング、コールセンターの受託運営、テレマーケティング業務の受託

事業概要：株式会社エーツメディアは、ディスクロージャービジネスの大手、株式会社プロネクサスのグループ会社としてEnhanced IRを企業理念にIR活動を支援しています。Enhanced IRとは、さまざまなマーケティング手法を駆使し、IR活動の領域を広げることで、顧客企業の投資家を中心にステークホルダーへのプレゼンスを改善・向上していこうという考えです。

株式会社エーツメディアは、e-株主リサーチやe-株主モニターアンケートの結果などを多方面からの情報を連動させ、独自の知的アセットを構築し、市場の求めるメディアのあり方を模索していきます。